

## 令和5年度第1回糖尿病療養指導士研修会(報告)

主催 熊本県糖尿病療養指導士会

日時 令和5年 7月 30日(日) 9:30~13:00

会場名 グランメッセ熊本 大会議室

## ◇『糖尿病とスティグマ ～個々により違うスティグマ～』

講師: 沖縄医療生活協同組合 協同にじくクリニック

糖尿病看護認定看護師 赤嶺 勝 先生

ご自身が1型糖尿病を患い経験したことを交えて、「スティグマ=烙印」についてお話してくださいました。何気なく口にした言葉がスティグマになったり、医療者の中でも糖尿病に対して誤解があるとおっしゃっていました。また、医療者の思いと患者様の思いが異なる場合、まず患者の考えや思いを聞くことが重要で、かけるべき言葉は患者個々によっても異なるとのことでした。今後も、患者の立場になり考え、患者の思いに寄り添った療養指導ができればと改めて感じました。

## ◇『当院における SMBG を活用した療養支援の継続』

講師: 医療法人財団聖十字会 西日本病院

糖尿病看護認定看護師 藤本 有紀 先生

血糖モニタリング機器(FMG)の導入までの流れを説明していただきました。グルコース変動が可視化できることで、食事内容や生活を振り返ることができたり、低血糖が怖いという患者様の安心するきっかけになるなどのメリットを症例を用いて話してくださいました。今後の課題もあるようですが、患者様とのコミュニケーションツールにもなっており、これからも継続していきたいとのことでした。

## ◇『薬物療法アルゴリズムと主要薬剤の特徴を識る』

～薬物療法に関して適切かつタイムリーな療養指導を行うために～』

講師: 熊本県立大学環境共生学部 食健康環境学科臨床病態代謝学

教授 下田 誠也 先生

糖尿病治療薬とアルゴリズムについて特徴と留意点をわかりやすく説明していただきました。治療薬はそれぞれの特徴と留意点を理解した上で、適正に選択、使用することが重要であると学びました。薬剤によっては体重に影響を及ぼすもの、食行動に影響するものもあり、食事療養指導においても患者様の使用している薬剤の種類と特徴について頭に入れておくことが必要であると思いました。

今回の研修会も、ハイブリッド同時開催で行われました。

ご講演いただきました先生方、貴重なご講演をありがとうございました。



【赤嶺先生ご講演の様子】



【藤本先生ご講演の様子】



【下田先生ご講演の様子】